

【参 考】

用語の解説

○ 時間加重収益率

運用機関の意思によってコントロールできない運用期間中に発生したキャッシュフローの影響を排除した、時価ベースの収益率。運用機関の運用能力を評価するのに適している。

○ バイ・アンド・ホールド

投資戦略の一つで、「買持ち戦略」ともいい、投資した銘柄を持ち続けること。マーケット・タイミングに応じて頻繁に売買を繰り返すことによるタイミング戦略とは対局にある投資戦略で、売買コスト（手数料や税金等）が少なく済む。

○ 複合ベンチマーク

年金基金等が策定する政策アセット・ミックスや投資マネジャーの各年度ごとの資産配分計画、あるいは、期初の資産構成など、ポートフォリオ全体の運用成果を評価する際の評価基準とするポートフォリオの資産配分比率を用いて、個別資産のベンチマーク・リターンを加重平均した収益率をいう。一般的に、ポートフォリオ全体のベンチマークとして使用されている。

○ フルインベストメント

組入比率を高位に維持することを意味している。ファンドの資産（資金）をフル（full）に投資する。つまり、現金で持っていないで（現金比率をできるだけ抑え）、ファンド資産の100%近くまで証券を組み入れるということです。

勤労者退職金共済機構の資産運用体制

